

■ 草津市都市計画マスタープラン

【第2回策定委員会での意見および対応】

[草津市都市計画マスタープランの策定方針等について]

発言者	意見（要旨）	回答	対応・検討の状況
委員	市民アンケートは 3,000 通で 18 歳以上を無作為抽出の中、知的障害者や視覚障害者の方、外国の方などの対応についてどのような対応をしたか。 バリアフリー・ユニバーサルデザインを進める上では、それが必要な方の意見が重要だと思うので、団体にヒアリングを行うなどあっても良いように思う。	◇知的障害者や視覚障害者など、回答の記入が困難な方については、ご家族での記入をお願いすることを「よくあるご質問」に記載しました。 ◇ただし、障害福祉課によると、一人暮らしの目の不自由な方もいらっしゃるということですので、まず無作為抽出の名簿ができましたら、障害福祉課において該当者がいらっしゃるかどうかチェックし、ケアをするということで調整しています。 ◇また、さまざまな方の声を聞くことは大事です。ご指摘いただいた意見の把握については検討したいと思います。	◇左記回答のとおり、知的障害者や視覚障害者など、回答の記入が困難な方については、ご家族での記入をお願いすることをアンケート調査票1ページ目の「よくあるご質問」に記載しました。また、無作為抽出の名簿作成後、名簿を障害福祉課に確認してもらった結果、今回の対象者の中には、特段の配慮を必要とする方はいませんでした。 ◇今後、その様な方々からの意見聴取の機会について、庁内関係課で構成する作業部会等を通じて担当課と調整を図りながら、既存調査結果の活用や新たな意見聴取等について検討していきます。
委員	庁内の関係課や関係団体と連携すると聞いたが、障害の種類や外国の方などにより対応が変わるので、各担当課と相談しながら進めることで、意見を反映してもらえると認識している。	—	
委員	一般論として、これまでの日本では抜け落ちがちで、丁寧な対応がなされないケースが多かったため、がんばってほしい。	—	
委員	無作為抽出した中に障害をお持ちの方がいらっしゃれば担当課と連携し注意する。直接ヒアリング等する方法もあり、それができない場合は、都市マスに反映する何らかの方法を検討してほしい。	◇今回の都市マスの策定においては、庁内関係課で構成する「作業部会」を設けており、障害福祉課も入っていますので、担当課からの意見を十分に踏まえます。 ◇また、その意見についても委員会で指摘いただきながら、都市マスを策定していく必要があると考えています。	
委員	アンケートだけでは状況がわからないところがあるので、一歩先をいくユニバーサルデザインとしては、障害を持った当事者と一緒にデザインを考えていくことが必要になる。都市マスに盛り込んでいただければと思う。 障害のあるなしかわからず、	◇障害をお持ちの方や高齢者の方についても、さまざまな方のご意見をうかがい、配慮できるような計画にして参りたいと思います。	◇地域別市民会議では、ワークショップ形式にて実施しているため、障害をお持ちの方々とともに同じ場で検討を行うことが難しい状況ではありますが、上記のとおり、別の機会の可能性について、担当課と調整を図りながら

発言者	意見（要旨）	回答	対応・検討の状況
	市民の声を広く聴くことは難しいことであり、アンケートやパブリックコメントも一つの手法である。 また、地域別市民会議を開催するということであるので、各地域の障害のある方、外国人の方などの声を直に聴く機会にできるかが重要だと思う。		進めていきます。

【現行計画の評価・検証について】

発言者	意見（要旨）	回答	対応・検討の状況
委員	市街化調整区域について、厳しく開発規制をかける自治体もあれば、割とゆるい自治体もあるが、草津市の方針はどうなっているか。	◇現行計画においては、市街化調整区域では新たな開発行為はできる限り抑制し、貴重な自然環境や優良農地の保全活用に努めるとしていました。 ◇集落地では必要な施設整備の推進とともに、市街化調整区域における地区計画を活用するなど、住民意向を踏まえた住環境及びコミュニティの維持向上を図るという方針のもと進めていました。 ◇今後については、アンケートなどの意見や地域の課題などを踏まえ、検討して参りたいと思います。	◇市街化調整区域では、新たな開発抑制の中で既存の集落地の活性化を図る必要もあるため、草津市版地域再生計画での考え方を踏まえながら、地域住民と協働して土地利用等の方向性を検討していきます。 ◇また、実施中の地域別市民会議でのご意見も踏まえた方向性を検討していきます。
委員	策定されている草津市版地域再生計画の内容については、都市マスに反映していただけだと思います。	—	
委員	現行計画における進捗状況の把握はされているが、評価・検証はどこに書いてあるか。	◇ご指摘のように現行計画の進捗状況の把握までしかできていない状況です。 ◇人口フレームについては、現行計画の推計と実績が近い数字で進んできたということの評価をしています。 ◇現行計画では評価する指標や考え方を設定できていませんので、最小単位の施策や事業ができていないかをまず把握するため、各担当課で整理しました。	◇今回の整理では、最小単位の施策・事業の実施状況を把握し、次期計画へ引き続き継続する施策・事業、廃止する施策・事業等について整理を行いました。 ◇一方で、ご指摘のとおり、明確な評価・検証を行うためには、客観的な評価指標や目標値を設定することも効果的な方法であります。 ◇今後、本計画では、進捗管理の方法を検討し、計画書内に記載することが必要となりますので、その際に、指標設定のメリット等を勘案し、また、明確な指標設定を行う立地適正化計画等との役割分担も考慮した中で、対外的に分りやすい評価・検証方法を検討してい
	進捗率は重要な評価指標であり、全体構想、地域別構想ともに「潤いのあるまちづくり」の未着手率が高く、全体構想では「人にやさしく環境に配慮した都市空間の形成」の未着手率が高い。 このようなことを総括として示	◇未着手率についてどうしていくのか、今後重点的に進めていくかについては、現行計画の進捗状況を踏まえて検討していきたいと思っています。 ◇ご指摘のとおり、評価・検証の視点が抜けていますが、指標を設定していれば、その指標につ	

発言者	意見（要旨）	回答	対応・検討の状況
	し、未着手率が高いのであれば、次の都市マスでは重点的に取り組むとすることも一つの評価でもある。進捗率が伸びていない分野だから重点的に進める必要があるというような、単純な評価は難しいということか。	いての評価ができるのですが、現行計画では指標を設定していませんでした。一方で、都市マスは大きな方針を示すものであり、方針に基づいた最小単位の事業の進捗確認をしたかったということです。	きます。
委員	進捗状況を整理することは必要なことではありますが、評価・検証までは言い過ぎかもしれない。	◇また、目指した都市構造に近づいたかという検証も、評価方法の一つかと思いますが、評価指標が設定できていなかったため評価が難しくなっています。策定後に評価ができるように、今回の都市マスでは工夫しておく必要があると考えています。	
委員	20年の変化を評価することが難しいのであれば、20年の変化について地図を1枚見せてもらえると、次の立地適正化計画などを動かすヒントがあるかもしれない。	◇次回、航空写真等を提示させていただきたいと思います。	◇国の分析ツールを用いた整理を行い、第3回に提示させていただきます。
委員	草津市は7km四方と小さいので、目が行き届きやすい都市であるが、草津駅と南草津駅を核として、農業地域から住宅地域、商業地域といった用途を区分していくことが重要である。 我先にさまざまな開発がなされているが、ある程度用途を決めていく必要がある。駅前に住宅やマンションが建設されることはありがたいが、駅から少し離れたところを住宅系用途にするなどしなければ、離れたところは人が住まない高齢者ばかりが住んでいるような地域になる恐れがある。都市計画については全体をみて考えてほしい。	◇人口減少、高齢化が進む中、都市マスとしては、将来の土地利用、市街化区域における用途、都市構造について議論していただきたいと思います。 ◇草津市は比較的コンパクトなまちの中で立地適正化計画を進めていますが、一方で市街化調整区域の集落においても持続可能なまちづくりに取り組んでいかなければなりませんので、全体の土地利用について考えていく必要があると思います。 ◇また、市街化調整区域での開発に際し、市街化調整区域における地区計画制度を活用する場合などは、都市マスにも位置付けておく必要がありますので、それらを含めて整理していきたいと思います。	◇今後の検討では、密接に関連する立地適正化計画等の3計画で掲げる「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の考え方を念頭に置いた中で、都市部と郊外部における適切なバランスによる都市経営を推進できる様、市全体の土地利用を考えていきます。
委員	各地域によって考え方が違うし、思いが詰まっていると思う。中心市街地に近い方の意見だけではなく、やや過疎化が進んでいる地域でも賑わいを求めているところもあるということも配慮して全体構想に反映してほしい。	—	◇本市の市域は大きくないものの、ご指摘のとおり、地域毎に特長ある地域性を有しており、地域住民の方々の将来的な土地利用の考え方も地域毎に違うものと考えられるので、現在実施している地域別市民会議でのご意見等を踏まえながら計画に反映していきます。

発言者	意見（要旨）	回答	対応・検討の状況
委員	<p>「賑わい」や「潤い」は都市マスの中でどのような定義がなされているのか。</p> <p>市民アンケートでも「賑わい」や「潤い」という言葉が使われているが、一般市民がみたときに何を思い浮かべるのかと思う。</p> <p>どの地域にも共通した、例えば「賑わい」などの視点はあるか。</p>	<p>◇「住みよい」、「賑わい」、「潤い」については同じ定義ではなく、地域別でさまざまな視点があります。</p> <p>◇例えば、現行計画の草津地域における「住みよいまち」の「住の視点」としては、「住商が共生するコンパクトな市街地の形成」、「安全・安心に生活できる環境づくり」など、各地域で視点を整理しています。</p> <p>◇地域別構想における「賑わい」では、人と人との交流の場を設ける、交通機関を構築するなどは、全体的に各地域に示されています。</p> <p>◇「潤い」については自然環境、緑の保全、草津川跡地の利活用などが示されています。</p>	<p>◇今後、改定する計画書で具体的に検討する中では、現行計画の表現にこだわらずに、分かりやすい表現に配慮していきます。</p>
委員	<p>地域別構想を議論する中で、私たちの地域では、「賑わい」とはこのようなものという意見が出るかもしれないので、それらを受けて記述内容を考えてはどうか。</p>	—	<p>◇地域別市民会議でのご意見等を踏まえながら、各地域の賑わいの考え方やあり方について検討していきます。</p>

[上位・関連計画の整理について]

発言者	意見（要旨）	回答	対応・検討の状況
委員	<p>草津市ではバリアフリー基本構想を策定されているが、関連計画としてはそこまで広がらないということか。</p> <p>また、各計画の「考慮すべき事項」について、例えばユニバーサルデザインについては、全体にかかわる共通して考慮すべき事項にならないのか。</p>	<p>◇草津市にはここで示した関連計画だけではなく、さまざまな計画があります。福祉や子育て分野など、その他計画については、全体構想の分野別の方針や地域別構想の具体的検討の段階において配慮していきます。</p> <p>◇また、バリアフリー基本構想、ユニバーサルデザインについては、現在、駅前のバリアフリー化を重点的に進めている状況ですので、広く市全体の整備には至ってありませんが、重点地区の駅前だけでもバリアフリーを進めることにより、拠点の形成につながると考えています。</p> <p>◇今後、分野別の方針等を検討いただく際には、関連計画の内容をお示していきたいと考えています。</p>	<p>◇全体構想及び地域別構想を具体的に検討する段階では、庁内の全ての計画を考慮及び整合を図る必要があるため、庁内の作業部会の場も活用しながら、調整を行うとともに、具体的な関連性がある計画については、適宜、本委員会でもご提示していきます。</p>
委員	<p>上位計画は2つとも来年度の策定に向け作業をしている状況ですが、都市マスとはどのように</p>	<p>◇滋賀県が策定作業を進めている大津湖南都市計画区域マスタープランについては、市街化</p>	<p>◇今後、全体構想及び地域別構想を検討する際に、当該計画を担当する事務局</p>

発言者	意見（要旨）	回答	対応・検討の状況
	整合を図る予定でしょうか。	<p>編入及び用途指定の市としての考えを伝えています。草津市だけではなく大津湖南全体でのバランスをとりながら進めておられますが、都市マスの都市構造や市街化編入などについて整合を図っていきたいと考えています。</p> <p>◇第6次草津市総合計画についても並行して策定作業が進められています。総合計画と都市マスは、草津市のまちづくり方針に示すものですので、委員の皆様方にも情報提供し、整合を図りながら議論をしていただきたいと思っております。</p>	<p>間で具体的に調整を図りながら人口フレーム、施策等の内容の整合を図ります。</p> <p>◇その内容については、本委員会にて、随時、報告させていただきます。</p>
委員	<p>大津湖南都市計画区域マスタープランについては、草津市だけではなく他市の考えを聞きながら、大津湖南地域の都市計画、市街化区域の編入などの整備・開発・保全の方針を策定する。今後は、整備・開発・保全の方針が出来たら、各市に示しながら整合を取るよう努めていく。</p>	—	◇県・市で密に連携をとりながら、両計画の整合を図っていきます。

【本計画で考慮すべき社会潮流について】

発言者	意見（要旨）	回答	対応・検討の状況
委員	<p>「全国的な少子高齢化・人口減少の進展」について、2017年統計で全国の平均指数は87、滋賀県は92ということで減少曲線は比較的緩やかになっている。また、草津市は人口増加となっており、全国的な傾向と異なることを留意する必要がある。</p>	<p>◇この資料は全国的な社会潮流を示しているもので、草津市の課題については十分に配慮します。</p> <p>◇草津市は人口減ではないですが高齢化は急激に進行することになります。昭和40～50年代に草津に住み始めた方が後期高齢者になり、さらに高齢になると介護が必要な方が増えてくるなどが今後の課題であると思っております。</p> <p>◇また、2060年には日本の総人口が8千8百万人になるという推計がなされていますが、これは戦後間もないころの人口の水準です。それほど人口が減るといったイメージをもっていたらと思っております。</p>	◇本計画では、総合計画での検討を前提として、将来的に目標とする人口数（（仮称）まちづくりフレーム）を設定するため、その際に頂いたご意見も踏まえて検討します。
委員	<p>人口減少、高齢化により、産業への影響が懸念される。 滋賀県は中小企業が多いが、跡継ぎがおらず黒字である</p>	◇「全国的な少子高齢化・人口減少の進展」に追記するか、または新たに項目をつくるかを整理いたします。	◇ご意見を参考とさせて頂き、計画書に記載する社会潮流において再整理します。

発言者	意見（要旨）	回答	対応・検討の状況
	<p>会社を閉じなければならぬという話もある。農業においても担い手がいない、福祉においても人口減少、高齢化の中で、高齢者福祉をどうするかという課題がある。</p> <p>人口減少に付随する課題についても社会潮流としてとらえておくべきではないか。</p>		
委員	<p>「ライフスタイルの変化」において、「人生100年時代」や「働き方改革実行計画」、在宅勤務が増えている等が書かれているが、「女性が仕事を辞めなくなっている」、「共働き家庭の増加」、「結婚しない生涯シングルの増加」などを考慮しなければ、単身者向けなどの住宅政策、駅前保育園等の施設立地の検討に影響するかと思う。</p> <p>電子商取引のシェア拡大についても考慮する必要がある。実際の店舗が潰れているという傾向があり、このままでは人が出歩かなくなることでまちに賑わいがなくなり、健康寿命が下がるということも考えられ、どのように人を呼び込み賑わいをつくるかといった検討が必要になる。</p>	<p>◇「ライフスタイルの変化」については追記する方向で考えさせていただきます。</p> <p>◇電子商取引のシェア拡大については、店舗の経営だけでなく、他に影響があるのではないかとご意見をいただきました。</p> <p>◇一方で高齢化の進行を考えると、今まで高齢で買い物に行けなかった方が、家まで持って来てもらえるということもあります。また、電子商取引のシェア拡大により物流が非常に重要となります。滋賀県にも物流拠点の充実が必要との意見もあり、物流という視点が抜けていると思いました。</p>	<p>◇ご意見を参考とさせて頂き、計画書に記載する社会潮流において再整理します。</p> <p>◇電子商取引も含めた物流分野においては、土地利用との関連性も考慮する中で市民に寄与する発展に貢献できる点について検討します。</p>
委員	<p>外出理由としては買い物と通院が多いと思う。買い物のために外出しなくて済むようになっても、なるべく外出して人と関わってほしい。</p> <p>介護や地域で見守るといったことを考えると、その仕掛けづくりを考えていってはどうか。</p>	◇整理させていただきます。	◇福祉分野と連携しながら、高齢者が外出しやすいまちといった視点も考慮した検討を行います。
委員	IT化により実際の人の動きがどうなのか、交通量が減るのか、自由な時間ができると、それを使って新しい行動が生まれるかはわからない。現時点では、委員の意見のような傾向をつかんでおいていただきたい。	—	◇ご意見のとおり、社会潮流に基づく将来的な期待と懸念について可能な限り傾向を把握し、その動きに基づく計画検討を進めていきます。
委員	全国的に高齢者のいる世帯が全世帯の半数という時代になっている。また、結婚していない方が高齢者を見ているということも多い。高齢者のみ、または高齢者と結婚していない方の世帯へのサポートの視点も取り入れてほしい。	◇周辺の市街化調整区域では若い世代が帰って来ないというイメージがあるかもしれませんが、まちなかの草津学区でも一人暮らしの高齢者が多いという現状があります。このような地域状況を配慮しながら、地域別構想においても検討していきたいと思えます。	◇将来的な人口見通しとともに、世帯構成の変化についても傾向を掴む中で、世帯構成毎のニーズの違いも踏まえた地域別構想等を検討します。

発言者	意見（要旨）	回答	対応・検討の状況
委員	<p>空き家・空き地の増加があるが、新しいものができればそちらへ移動し、古い方は空き家・空き地になる傾向にあるようなので、検討課題であると思う。</p>	<p>◇草津市は比較的空き家は多くないですが、危険な特定空き家についてはしっかり対応していきます。一方で、住める空き家の対策については、募集をして平成 29 年に1軒だけマッチングがありましたが、空き家があるのに「貸してもいい」と言っていた方が少ないという実情があります。</p> <p>◇また、草津市の課題として学生マンションがありますが、マンションの空室問題も配慮しなければならないと思っています。</p>	<p>◇草津市内の現状として、空き家に関する課題は顕在化していませんが、次期計画では、全国的な潮流と同様に大きな対応課題となることが想定されるため、ご意見のとおり、空き家の流動化や活用の方策等についても計画書内で触れるべき項目であるものと認識しています。</p>
委員	<p>「防災意識の高まり」については、都市マスの「土地利用」に取り入れるか。危ない所はなるべく住むなどということなのか、レジリエント・シティの考え方もある。</p>	<p>◇国では国土強靱化基本計画がつくれ、市でも国土強靱化計画を策定することが、防災に関する補助金を取得するための必須となっており、必要な所を強靱化していくことは都市づくりでの基本だと思います。</p> <p>◇一級河川草津川においても、平成 16 年に放水路を 600 億円程度かけて整備していただきましたが、維持管理・浚渫等が適切にできていなければ、想定外の大雨時に耐えるのかということもありますので、都市としてどう強靱化していくのか、安全・安心はキーワードになると思います。</p>	<p>◇計画書内では分野別方針を検討しますが、その中で防災分野についても項目を設けて、「安全・安心分野」等として整理を行います。</p>
委員	<p>「防災意識の高まり」について、危機管理として都市マスにおいて安全・安心のための対策を示していくことは必要である。</p> <p>また、社会資本の老朽化も、都市マスには重要な視点であると思うが、都市マスにはどのような対策を示すことになるか。</p>	<p>◇草津市ではそれぞれの公共施設に対して長寿命化計画を策定しています。潰れる前に予防保全し、できるだけ長く持たせることが基本です。</p> <p>◇また、国土強靱化計画を踏まえて強靱化しつつ、やり直さなければならないところはやり直し、予防保全、ファシリティマネジメントを計画的かつ効果的に進める仕組みを考えていかなければならないと思います。</p>	<p>◇社会資本の老朽化に関しては、本市の計画である「草津市公共施設等総合管理計画」での取組を主としながら、都市マスにおいても、公共施設の老朽化に基づく再配置やインフラの更新の考え方等について整合を図っていきます。</p>
委員	<p>「社会資本の老朽化と維持管理」において、維持管理は社会資本がある限り未来永劫続くものである。短期的な対応としては耐用年数を超えた社会資本の整備について、中長期的な対応としてはストック管理について考えることが課題になる。</p> <p>また、「持続的な環境形成」には「地球温暖化等の環境対</p>	—	<p>◇ご意見を参考とさせて頂き、計画書に記載する社会潮流において再整理します。</p> <p>◇特に、社会潮流と時間軸に基づく対応事項の整理方法については、ご意見を十分に踏まえて整理します。</p>

発言者	意見（要旨）	回答	対応・検討の状況
	策」も含まれており、一本化されると思う。 社会潮流は社会潮流で整理し、都市マスの対応においては、短期的に対応することと中長期的に対応することに分けた構成にすると分かりやすい。		
委員	地球温暖化による海水温の上昇により、台風の数減っているが、大規模な台風が発生しやすくなっていると報道されていた。大規模な台風に対する取り組みの必要性を社会潮流で整理すると良い。	—	◇近年の異常気象に基づくゲリラ豪雨や台風被害の甚大化等については、十分に認識すべき事項であるため、その点も踏まえた都市の安全面について検討を行います。
委員	「持続可能な環境形成」におけるSDGsの17のゴールには、子どもにきちんと教育を受けさせることや、男女の平等なども入っている。 日本ではSDGsというと環境のことばかりであるが、17項目にはさまざまな内容があるので、都市マスで取り扱う項目を整理されてはどうか。	—	◇ご意見のとおり、SDGsは都市計画分野以外の多様な分野が含まれているため、都市マスの策定・運用を通じてSDGsの目標に貢献できる項目を整理していく必要があります。
委員	SDGsでは元々、環境、雇用、社会・コミュニティの3つの柱が安定していなければ、持続可能なものにならないという主旨であるが、公害がはびこっていた日本においては、環境が重視され対策してきたこともあり、新鮮さはない。 国連において途上国も含めて賛成してもらったものであるため、日本にはあわない内容も入っている。		
委員	SDGsでは17の項目と169のターゲットがある。 都市マスに含める内容は何か整理が必要である。		

【草津市の現況特性と分野別の課題について】

発言者	意見（要旨）	回答	対応・検討の状況
委員	草津市の人口はしばらく増えていく状況で、市街化調整区域においても開発が進んでいる。50戸連たんという制度があり、市街化調整区域がある南側の学区において、集落が隣接する道路に面した区域のみ住宅が建てられている。そうすると、その奥だけが農地として残り、使い	◇50戸連たんにより道路沿いだけで開発が進むと、農地も使いづらくなり荒廃していくことになります。また、草津市において中心市街地の活性化とコンパクトなまちを進める中で、市街地を拡大してよいのかということも課題です。 ◇「市街化調整区域では、地域	◇市街化調整区域では、新たな開発抑制の中で既存の集落地の活性化を図る必要もあるため、草津市版地域再生計画での考え方を踏まえながら、土地利用等の方向性を検討していきます。 ◇また、ご意見のとおり50戸

発言者	意見（要旨）	回答	対応・検討の状況
	<p>勝手が悪い土地が残ることになるので、市街化調整区域でも有効的な土地利用を図るための施策をとってほしい。</p>	<p>の居住関係やコミュニティの維持・向上に資する様、草津市版地域再生計画と連動した生活拠点の形成等を図ることが必要」と考えています。市街化調整区域における地区計画制度の運用もできますが、草津市版地域再生計画では、生活拠点においては住居系ではなく生活利便施設を誘導していくことを想定していますので、都市マスとも整合を図っていきたいと思います。</p> <p>◇50 戸連たんの制度をやめることは難しいと思いますが、小学校を分校したり、高穂中学校の校舎が足りないという課題も出ておりますので、バランスのよいまちづくりを進めることが大事だと思います。</p>	<p>連たんの制度について、場所毎の望ましい運用方法についても検討が必要であるものと認識しています。</p>
委員	<p>安全・安心に暮らせるまちづくりの視点でみると、滋賀県の警察官の数は2,280人程度であるが、警察官一人当たりがカバーする人口では全国でワースト2位である。ワースト1位は埼玉県であるが、埼玉県は首都圏というパッケージで考えるので、実質的には滋賀県がワーストである。</p> <p>安全・安心に暮らせるまちを維持することは、警察の力だけで物理的にも無理であり、行政が安全・安心なまちづくりにコミットしていかなければならない。</p> <p>また、ミニ開発が道路行政とリンクしていないことが多いため、渋滞も発生して交通事故も多くなる。</p>	<p>◇交番の設置については、南草津駅周辺の区から要望をいただいております。また、滋賀県も警察官の増員を要望されているようです。</p> <p>◇また、千葉県では移動交番を導入しているようで、滋賀県も勧められてるようです。</p> <p>◇警察官だけではなく地域ぐるみで安全・安心なまちづくりを進めることは当然のことで、小さなゴミ拾いから少しずつ取り組むことで犯罪抑制につながります。</p> <p>◇駅前に防犯カメラを設置することについて、プライバシーの問題もありましたが、犯罪抑止のため今では当たり前のように設置される時代になりました。</p> <p>◇地域の皆さんに犯罪抑止の視点を持っていただく仕組みづくりを考えていかなければならないと思います。</p>	<p>◇ご意見を参考として、全体構想の分野別方針「安全・安心分野」において、都市計画の面から防犯に貢献できる取組みについて検討を行います。</p> <p>◇また、道路交通体系についても、将来的な開発見込みに伴う交通発生量等も念頭に置いた中で、必要な道路網を検討していきます。</p>
委員	<p>都市構造の観点では、人口は増えているが、それ以上に市街化区域が広がり、防犯面にコストがかかる状況になっている。</p> <p>そのため、立地適正化計画やコンパクト・プラス・ネットワークなど国が政策として進めているが、強制的に縮めるわけではなく、インセンティブなど市として住みやすくするための方針を示し</p>	—	<p>◇立地適正化計画等の3計画で掲げている「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」は、都市運営の適正化だけでなく、市民活動においても貢献できる側面も持っているため、郊外部での生活利便性は確保しながらも、駅周辺等での都市の高密度化を図る取組みを検討して</p>

発言者	意見（要旨）	回答	対応・検討の状況
	<p>た上で、緩やかに集約していこうとしている。</p> <p>うまく集約されれば、防犯パトロールの範囲も狭まり、福祉ではデイケアサービスで巡回している方たちの移動距離も少なくなり、よりよいサービスを提供でき、また自動車に頼らず歩いて移動することになるなど、費用対効果が良くなるということもいわれている。そのため、コンパクトにしていこうということを打ち出していくことが重要である。</p> <p>和歌山市では50戸連たんを廃止した事例があるが、市街化調整区域における開発は今後を見据え抑制していくことも、あわせて議論してほしい。</p>		<p>いきます。</p>
委員	<p>防犯カメラは絶大な防犯効果、犯罪抑止効果がある。大阪府の箕面市や守口市がモデル都市であるが、草津市でも犯罪に強いまちづくりを期待する。</p>		<p>◇ご意見を参考として、全体構想の分野別方針「安全・安心分野」において、都市計画の面から防犯に貢献できる取組みについて検討を行います。</p>
委員	<p>都市災害について、草津市には草津川だけでなく、葉山川や伊佐々川もある。</p> <p>伊佐々川は、昨今の集中豪雨ではJRのガードの上まで上がってきそうな状態である。浚渫、河川改修ができていないため流れが悪くなっている。</p> <p>葉山川は中ノ井川からの水が流れ込んでおり、大雨の際は上まで来ているので、対処してほしい。</p>	<p>◇集中豪雨における伊佐々川の状況などは承知しています。</p> <p>◇滋賀県にお願いしなければならない部分と、地域住民の皆さんと共同で守っていなければならぬ部分があると思います。</p>	<p>◇近年の異常気象に基づくゲリラ豪雨や台風被害の甚大化等に伴う想定被害の拡大については、十分に認識すべき事項であるため、その点も含めた都市の安全面の検討を行います。</p>
委員	<p>「交通ネットワークの形成に資する計画的な道路整備と公共交通の利便性の確保」について、国道1号の上り線から南草津駅方向へ入る左折レーンは1車線であるが、横断歩道に歩行者がいるため左折車が止まってしまい、朝夕はいつも渋滞し、交差点での人身事故も発生している。</p> <p>幹線道路については、2車線化や右・左折ラインの確保など、スムーズに通行できるよう解決策を考えてほしい。</p>	—	<p>◇ご意見を参考として、全体構想の将来都市構造や分野別方針「交通分野」において、全市的な交通体系の将来像を示すと共に、交通渋滞等が発生するポイントでの改善の方向性についても地域別構想等で検討を行います。</p>
委員	<p>道路整備の順序を間違えると、逆に混雑の要因になる。</p> <p>南草津の駅前是非効率であ</p>	—	<p>◇道路整備については、用地買収等の進捗に応じて実施されるため、必ずしも市が想</p>

発言者	意見（要旨）	回答	対応・検討の状況
	<p>る。先ほどの交差点が整備できていないため、現在運行しているジョイントライナーの有効活用ができていない。インフラを整備する際は、整備の順序を考慮してほしい。</p>		<p>定する順序による整備が叶わない場合もありますが、本計画にて将来的な道路交通体系を明記して、その実現に向けて検討を進めていきます。</p>
<p>委員</p>	<p>草津市の幹線道路網をみると、南北ばかりで東西のルートが少ない。市内の交通計画、活性化を図るためには東西軸を考えてほしい。</p>	<p>◇草津市だけでなく滋賀県全体が南北にまちが続いていることは事実です。国道1号の問題は山手幹線の整備が進めば、交通の流れが変わるだろうと想定しています。</p> <p>◇ただし、南北軸ができて、そこにつながる東西軸が充実しなければ効果的な道路整備とはいえませんので、ご指摘の通り東西軸は課題であり大事な視点だと認識しています。</p>	<p>◇本計画での全体構想の将来都市構造や分野別方針「交通分野」において、全市的な交通体系の将来像を示す中で、東西軸も十分に考慮した検討を行います。</p>
<p>委員</p>	<p>未整備でも都市計画決定されている道路は表示すると分かりやすい。</p>	<p>—</p>	<p>◇計画書内での表示内容において、ご意見に留意して作成を行います。</p>
<p>委員</p>	<p>山手幹線が整備されると国道1号の交通量は減ると思うが、東西軸は余計に混むようになる。</p> <p>京滋バイパスからかがやき通りは今でも渋滞しているが、山手幹線が整備されると若草方面からの車の量が間違いなく増えると思う。山手幹線の開通時期はいつごろか。</p>	<p>◇山手幹線には、京都へぬける大津山科バイパスの整備が重要であり、京都府と滋賀県で国に要望いただいております。草津市としても積極的に要望しているところです。</p> <p>◇難しい課題ですが、認識していかなければならないと思っています。</p>	<p>◇市内の移動の円滑化だけでなく、市外との広域的な繋がりに関して山手幹線の整備の重要性は高く、県と連携する中で整備を推進しますが、整備されることでの周辺への影響も十分に考慮する中で進めていきます。</p>
<p>委員</p>	<p>分野別の課題に「道路整備を推進して、環状線化」とあるが、現状では南北の整備計画はあるが、環状線化までは見えない状況である。表現を変えると良い。</p>	<p>◇南北軸は、野洲市・守山市側から京都市に向かう通過交通としての利用のイメージですが、市民の立場で考えた時に、市内を循環できるような環状道路も必要だと考えています。</p> <p>◇課題としては、通過交通が多く渋滞していることが、市民の市内循環に対し迷惑をかけているのではないかと思います。</p>	<p>◇本計画での全体構想の将来都市構造や分野別方針「交通分野」において、全市的な交通体系の将来像を示す中で、東西軸も十分に考慮した検討を行います。</p>
<p>委員</p>	<p>「エリアごとのポテンシャルを活かすためのメリハリある土地利用の形成」において「スポーツ施設や大規模商業施設等の誘導」とあるが、社会潮流でネット通販などが増えることもあり、大規模商業施設は必要なのか。</p>	<p>◇市の開発公社で先行取得している烏丸半島の9haについて、観光や商業に活用していくことを指しています。市街化調整区域ですので、地区計画制度を運用しながらとなりますが、草津市だけでなく滋賀県全体の活性化のために進めていくこととなります。</p>	<p>◇立地適正化計画において、各種の分析に基づき、JR草津駅及びJR南草津駅周辺の都市機能誘導区域では、誘導施設にスポーツ施設や大規模商業施設等を設定して、将来的に誘導を図るものとしています。</p> <p>◇本計画でもその内容に基づき、両駅周辺の土地利用を検討するものとなります。</p>

[アンケート調査票（案）について]

発言者	意見（要旨）	回答	対応・検討の状況
委員	<p>男女別の集計はLGBTを考慮して行わないとされているが、クロス集計により、さまざまな設問で男女の考え方の傾向が出てくるのではないかと思う。男女に関する設問はどうしても外さざるをえないのか。</p>	<p>◇男女に関する設問を削除している件については、昨今の社会の動きを受け、LGBT性的マイノリティの方々への配慮という観点について、アンケートだけではなく市の公文書全体の方針についての方針が出されました。</p> <p>◇これをきっかけに男女に関する設問の必要性を改めて確認したところ、男女の身体の違いに関連するような調査であれば明確な必要性があるかもしれませんが、しかし、施策を考える際に、男女の意識差はこれまでの社会の中で定着しているものがあるかもしれませんが、ダイバーシティなど将来の動きをみずえると、男女の差よりも広く市民全体の考え方としてとらえ、参考にさせていただくということで事務局において判断させていただきました。</p> <p>◇アンケートを男女の設問を省いて実施することは、草津市としても初めてになります。都市マスの策定検討に向けた意見聴取において、男女の設問を省くことについて、ご議論いただければと思います。</p>	<p>◇今回のご議論及び市の公文書全体のあり方の方針を踏まえ、男女に関する質問は掲載しないものとなりました。</p>
委員	<p>子育てや共働きが増えているという意見もありましたが、女性が住みやすいと思えるまちづくりも必要ではないかと思う。そういう意見を抽出するためにも、男女とその他自由回答の設問はあった方がよいと思う。</p> <p>また、その他と答えられた方がどのような意見なのか分析することも必要ではないか。</p>	<p>◇設問を設けるのであれば、「男性」、「女性」、「答えたくない」というものになるかと思いますが、まちづくりを進めていく中で、「答えたくない」と回答された方の意見の傾向を把握することも大事ではないかという議論も行いました。</p> <p>◇今の時代は申請書などにも性別を書かないという流れになってきていますので、男女の区別なく分析できるのではないかと判断でさせていただきます。</p> <p>◇また、個別計画として今年度においても子ども・子育て支援事業計画や、子ども若者計画を並行して策定を進めています。子育てなどの市民ニーズについては、そちらの分野のアンケート結果などで把握していく工夫をしていきたいと思っています。</p>	<p>◇今回のご議論及び市の公文書全体のあり方の方針を踏まえ、男女に関する質問は掲載しないものとなりました。</p> <p>◇なお、他の検討中または策定済みの計画で実施している市民ニーズの把握での結果について、担当部署との情報共有の中で把握を行いながら、検討を進めていきます。</p>

発言者	意見（要旨）	回答	対応・検討の状況
委員	LGBTの方が、性別を問われることに非常に苦痛を感じたとお聞きすることもある。女性政策についてのアンケートなどでは、性別の男性・女性、心は女性・男性、またはそれ以外などの統計をとる必要があるかと思うが、今回はなくてもよいと思う。	—	◇今回のご議論及び市の公文書全体のあり方の方針を踏まえ、男女に関する質問は掲載しないものとなりました。
委員	アンケートで何を把握するかで決めればよい。個別に子育て世代や女性、男性の高齢者などに対する政策を打つヒントを得るためであったら、細かく分ける必要があると思う。 性別ではなく、年齢層や居住地域別に把握したいものであるかは、事務局で判断してよいと思うが、このアンケートをみると平板的に聞く内容なので、個人的には男女に関する設問はなくて問題ないのではないかと思う。	—	
委員	男女の設問はなしとするのであれば、「現在の同居人」についての設問の選択肢において、親を「父親」と「母親」と分ける必要がないのではないか。 実際には父子・母子家庭が存在しており、母親または父親が回答し、配偶者がおらず子どもが未成年の場合である。高齢の父親と息子の2人で同居していれば、息子が介護しているのではないかというストーリーが見えるということもある。 「配偶者」という選択肢についても、LGBTにおいて同性婚の議論があり、事実婚という形態もある。 両親なのかどちらか片方なのかはわかるが、祖父母についてはどちらかわからない選択肢となっており、整理された方がよいかと思う。	◇「父親」「母親」も分けなければ、整合性がとれないのではないかと思います。 ◇都市マスにおいて、男女を配慮した施策を打てるのかということもあり、市民にまちづくりの方向性について広く聴取するアンケートですので、男女に関する設問は省く方向で進めさせていただきたいと思います。	
委員	男女の設問に関しては、草津市の新しい試みとしての意向があるので、この委員会でもその方向でやむを得ないだろうということで承認したい。整合性をとってまとめてほしい。	—	◇委員長ご発言に基づく委員会での承認及び市の公文書全体のあり方の方針を踏まえ、男女に関する質問は掲載しませんでした。
委員	問 8-1 の選択肢は1行で書かれ行間もあり見やすく、同じような内容である問 7-1 の選択肢は折り返して2行になっており見	◇レイアウトとバランスについては、市民が見やすいという視点で、もう一度精査させていただきます。	◇ご意見を参考として、紙面の制約上の中で可能な限り見やすい様に修正を行いました。

発言者	意見（要旨）	回答	対応・検討の状況
	<p>づらい。問 5-1 は、行間もなく読む気がしなくなる。</p> <p>問 3-1 の選択肢は、草津市内での選択肢 4 で折り返し、滋賀県内の選択肢 8 で折り返し、最後は県外等でまとめた方が、見やすい配列である。</p> <p>回答する側が見やすいか確認した上で原稿をつくと、回収率も変わると思う。</p>		
委員	<p>問 6-6 について、「住宅周辺の環境」という設問と選択肢の内容が合わないので、文言を変えた方がよい。</p> <p>住宅周辺だけではない選択肢もあり、「住環境」にするなどが考えられる。</p>	◇問 6-6 の文言を「住環境」とするかについては検討させていただきます。	◇ご意見を参考として、「住宅・住環境」へ変更を行いました。
委員	3ページから4ページのように、一つの設問でページをまたぐのはやめた方がよい。	—	◇ご意見を参考として、ページをまたがる設問は避ける様にレイアウトを行いました。
委員	問 9-1 において「行政」とあるが、一般の市民にはピンとこない言葉ではないかと思う。「市」または「市役所」にした方がよいのではないか。	<p>◇市役所だけでなく、国、県を含めて行政としています。</p> <p>◇市政とすると議会を含めたものになりますので、市役所における行政の執行という整理を考慮すると、行政という表現でわかっていたかと思えます。</p>	◇左記回答のとおり、行政という表現としました。